

令和2年度 島根大学に入学された皆さまへ
～入学式式辞に変えて～

法文学部、教育学部、人間科学部、医学部、総合理工学部、生物資源科学部に計 1,254 名、大学院人文社会科学研究科、教育学研究科、医学系研究科、自然科学研究科に計 244 名の新生をお迎えできましたことは島根大学としまして大きな喜びです。入学された皆さま、そして、ご家族や関係者の皆さま、ご入学おめでとうございます。本学教職員ならびに在学生とともに、皆さまのご入学を心からお祝い申し上げます。

本来であれば、多くのご来賓やご家族、関係者の方々のご臨席のもと入学式を挙行し、本学の教職員、在学生と共に皆様の入学をお祝いするところですが、新型コロナウイルス感染症の国内外における感染状況を踏まえ、そして、皆さま方の健康を最優先に考えた結果、今年度の入学式は中止する決断をいたしました。このような事態になりましたことを大変残念に思っています。晴れて入学式を迎えることを楽しみにしてこられました新生やご家族、関係者の皆さま方には大変申し訳なく思っています。今般の事情をご勘案いただき、この度の措置についてご理解頂きたくお願い申し上げます。感染拡大が一日も早く終息することを願っています。

さて、厳しい状況ではありますが、皆さんは大学生としてのスタート地点に立ちました。新たな生活に対して大きな期待を持っておられることと思います。学生であればこそ可能な体験が多くあります。果敢に新しいことにチャレンジして下さい。チャレンジとは、直面する困難や課題を自らの力で克服していく過程です。困難や課題に対して安易に他人に頼ることなく、また、簡単に妥協することなく、試行錯誤を繰り返しながら、自らが真に納得するまで追求し続けて欲しいと思います。課題の解を得ることを切望し、探究し、迷い、悩む過程そのものが学びの本質です。さらに、皆さん自身が持っている興味・関心を大切にして下さい。好奇心が学びや行動の原動力になります。本学の教育・研究環境を存分に活用し、より深く実り多い学びがなされ、主体性を持ってさまざまにチャレンジし、自らの夢の実現と目的の達成を目指して、一步一步着実に将来の礎を築かれることを願っています。そのような皆さんを島根大学はしっかり支援していきます。

現代社会は急速なグローバル化の進展、人工知能・情報通信技術等の飛躍的発展により、ますます複雑で予測不能、そして、不確実性の高い社会となっていくといわれています。これからは、幅広く高度な専門的知識や技能を使いこなすと共に、未来を見通しながら現状を的確に把握し、課題の本質を見極める深い洞察力が不可欠です。そのような能力は、主体的な思考と多様な体験が基盤に養われるものと思います。島根大学では、昨年度から学事歴を変更して夏季に地域活動や海外留学・研修を推奨するための 4 週間のフレックスタームを設けています。今年度についてはどの程度実施できるか現時点ではわかりませんが、可能な限り提供される多様な研修プログラムを活用して、地域に赴いてのボランティア活動や長期インターンシップ、また、海外留学・研修に積極的に参加していただきたいと願っています。そして、実体験として地域や世界を肌で感じ、授業で修得する専門的知識・技能と併せて深い学びにつなげて下さい。また、島根大学では皆さんの幅広い学びを支援するために、

学部横断型の特別副専攻プログラムとして、英語高度化、中国語実用化、環境教育、ジオパーク学、Ruby・OSS履修、数理・データサイエンス（基礎、専門）、ものづくり人材育成、自然災害軽減科学の9つのプログラムを開設しています。さらに、今年度は新規に「観光教育プログラム」を開講します。島根大学は、主体的に、失敗を恐れず積極的にチャレンジする皆さんを多方面から応援します。

今、私たちの社会は **Society 5.0** と呼ばれる超高度情報化社会に向かっています。**Society 5.0** は、仮想空間と現実社会を IoT, AI 等により高度に融合させ、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会と定義されています。目指す未来においては、理科系における知と人文社会科学的知の双方が必要とされています。皆さんには、文系、理系の枠組みに捉われない広い知識と柔軟な発想力を持つことが期待されています。共通教養において、理科系の学部に入学者の方は文系科目を、そして、文科系の学部に入学者の方は自然科学系科目をしっかりと学んでください。特に、今後は全ての学生にとりまして情報リテラシーの修得が極めて重要です。島根大学では、数理・データサイエンス教育研究センターを中心に全学的な数理・データサイエンス教育を強化しています。文系・理系を問わず、入学されました全ての皆さんが、一定の数理統計やデータ解析・分析の知識・スキルを身に付け、それぞれの専門領域の知識・技能と併せて活用し、将来にわたり活躍できるよう準備しています。

2015年の国連サミットにおいて、SDGs（持続可能な開発目標）として2030年までに達成するための17の目標を掲げました。本学においても、昨年度に「島根大学SDGs行動指針」を策定し、大学経営戦略の指針と位置付けました。今回の事態では、まさしく3番目の目標「すべての人に健康と福祉を」が持続可能な世界のために必須であることを示されました。私たち一人ひとりが世界的視野を持ち、可能な範囲で少しずつ意識を高めていくことが大切だと思います。皆さんと共にSDGs達成を目指して活動し、持続・発展していく輝かしい未来の構築に貢献すべき責任を感じています。

入学を迎えられた皆さんにはこのような事態で入学を迎えることになり、新たな生活を始めることと相まって大きな不安を抱えておられる方も多いと思います。事態が収束するまでは、授業や正課外活動において不規則な状況が想定されますが、島根大学は、皆さんの修学・生活環境の保持・保全、そして、皆さんの健康を守るため最善を尽くします。しばらくはご不便をおかけすることもあるかと思いますが、状況をご理解いただければ幸いです。いかに厳しい環境にあっても、皆さんが充実した学生生活を送られ、自らの学びを追求され、大きく成長されることを願ひまして、入学された皆さんへのメッセージとします。

令和2年4月2日
国立大学法人島根大学
学長 服部泰直